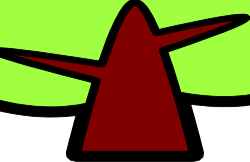


永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
令和4年10月発行・第186号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877



10月の生活目標

- ・静かに話を聞きましょう。



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？
日時：10/28(金)・11/17(木)

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。
※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。
事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】〇月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】〇9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

〇12:30～13:30

昼休みの為閉園

〇13:30～16:00

この時間帯のご利用の場合は、電話での申し込みをお願いいたします。

〇なかよしミックスで「いもほり体験」があります。

日時：10月11日(火)10:00～12:00 (先着15組)

10月12日(水)10:00～12:00 (先着15組)

※事前の申し込みが必要です。(2・3歳児が対象です)

※詳しくは、予約時のお電話でお知らせします。HPにも詳しく載せています。

(金立公民館に、現地集合・現地解散です。)(10/3 9:30から電話予約開始です。先着順です)

「リアル体験を♡」

夜空が美しい季節になりました。日中の暑さも夜になると風が心地よく感じられています。先日、子ども達が「みて！みて！雲がきれい～♡」と指さす方向を見ると、本当に！青い空にイワシ雲が鱗のように散り、しばらくの時間、感動で空の景色に見とれていました。園庭には、コスモスの花びらを摘まんだり、どんぐりの実を朝から競って拾い集めたりして、秋の遊びを楽しむ子ども達が増えてきました。運動会に向けての練習も終え、これからの季節は自然遊びを中心に進んでいきます。先日、東京の幕張メッセで開かれていた、ゲームショーの様子がテレビで放送されていました。ゲームとはいえ、その進化の度合いに圧倒されてしまいました。色々心配なことがある一方で、医療や教育面での活用に期待が持てたのも否めません。体験をしているアナウンサーの発言の中で、「まさに、本物の手触りを感じます！」「この感覚、五感を刺激します」等々、実感を通した発言がたくさん聴かれました。その発言を聞いて、「やっぱり本物体験をして、五感を育てておかないと次世代でもいいものは作れない！」と感じました。秋は、色々な本物の自然体験をさせて下さいね。

(三光保育園 園長)

10月・11月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・10月14日(金)…1歳の日
- ・10月17日(月)…2.3歳の日
- ・10月19日(水)…1歳の日
- ・10月20日(木)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・10月24日(月)…フリーディ
- ・10月25日(火)…フリーディ(初めての人限定)
- ・10月26日(水)…フリーディ
- ・11月4日(金)…1歳の日
- ・11月7日(月)…1歳の日
- ・11月8日(火)…2歳・3歳の日
- ・11月14日(月)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・11月15日(火)…フリーディ
- ・11月16日(水)…フリーディ
- ・11月21日(月)…食育講座
- ・11月22日(火)…環境講座(エコプラザ)

※時間：10時～11時

※開催場所：三光幼稚園・保育園の運動場・子育て支援センター・エコプラザ等

※事前の電話での申し込みが必要です。

(・10月分10/3～・11月分11/1～ 9時半～17時)

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。1歳と2・3歳の日は、参加できます。

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変更がある場合があります。出かける前に必ずHPで確認してください。また、感染症対策にもご協力ください。



「子どもの健康管理」

西九州大学 看護学部看護学科 助教 大坪奈保

暑かった夏が嘘のように涼しく、すっかり秋らしくなりました。季節の変わり目は体調を崩しやすく、お子さんの健康管理にも気を使われていることと思います。新型コロナウイルス感染症の拡大もすでに3年目、第7波が収束したものの、今度はインフルエンザの季節を迎え、感染予防に気が抜けない毎日です。

さて、健康管理といえば、お子さんの体温は毎日測定していますか？コロナ前であれば、熱っぽい、体調が悪いと感じたときに体温を測定していたことと思います。しかし現在は、保育園・幼稚園・学校と、ほぼ全ての保育・教育機関で「当日の体温」「咳などの症状の有無」の報告が毎日求められます。

体温とは、身体内部の温度のことを言います。1℃以内の日内変動があり、一般的に午前2～6時頃（睡眠中）に低く、午後3～8時頃（活動中）に高くなります。また、子どもの場合、10歳ごろまでは、成人より体温が高く、また体温調節機能が未発達なために体温が変動しやすいものです。新生児、乳児期では体温は37℃以上を示すことが多いです。

皆様のご家庭では、どのような体温計を使っているのでしょうか。現在、家庭用として使われているものには、電子体温計（わきにはさんで測定するもの）、耳式体温計（耳に軽く挿入して鼓膜温を測定するもの）、非接触体温計（おでこにかざして、赤外線体温をよみとるもの）があります。

耳式体温計は、2～3秒で測定できる利点がありますが、耳孔形（耳のあな）の個人差などによる誤差が若干生じることもあります。非接触体温計は、2～3秒と短時間で測定できることから、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い市場に多く出回った体温計です。しかしこの体温計は外気の影響を受けます。体の外側の温度は、周りの環境（気温など）に影響を受け、変化します。屋外で測定したり、強い風の当たっている状態で測定すると、正しい値ではなかったり、エラーを示すことがあります。一方、電子体温計（わきにはさんで測定するもの）は、わきの下の動脈（腋窩動脈）の温度を反映するため、より体内の温度に近い値を測定することができます。非接触性体温計で測定し、元気なのに高温を示す、逆に極端に低い温度を示すときは、電子体温計で測りなおすとよいでしょう。そして、風邪症状があるか、水分や食事はとれているか、尿や便の排泄はあるか、などの身体の状態を観察し、気になることがあれば受診をします。

毎日体温を測定していると、子ども自身も、「わたしのいつもの熱は〇度くらい」とわかるようになります。「お熱ないね」「今日は〇度だよ」と一緒に確認することで、自分の体調について知る習慣が身に付きます。体調管理は、生活の基本です。これから、遊びや勉強やスポーツと様々なことに挑戦していく子どもたちが、自分の健康なからだを資本であるということを少しずつ学んでいけるといいなと期待します。